

2020 年秋季大会 領域 7 インフォーマルミーティング

日時：2020 年 9 月 10 日 18:00-19:00

場所：オンライン開催

主催：領域 7（運営委員）

議題目次

1. 学生優秀発表賞表彰式
2. 現領域代表、副代表、運営委員の紹介
3. 次期領域代表、副代表の選出・承認 [審議事項]
4. 次期領域運営委員の紹介
5. 次々期領域運営委員の選出・承認 [審議事項]
6. メーリングリスト運用に関して
7. 概要集提出率に関して
8. 各種賞について（米沢富美子記念賞・日本物理学会論文賞）
9. 関連会議・シンポジウムの紹介
10. 次回大会について
11. 言語の英語化について [審議事項]
12. 学生優秀発表賞について [審議事項]

1. 学生優秀発表賞表彰式

領域代表・副代表・運営委員の経験者および候補者からなる 13 名に審査を依頼し、

- ・研究内容（研究の意義、新規性、妥当性）
- ・プレゼンテーション（ポスターの構成、伝わりやすさ、質疑応答）

+ 学生優秀発表賞への推薦の観点で審査を行った。

その結果、以下の 2 名を受賞者として選出し、表彰式を行った。

- ・PSG2 櫻糒 大仁（東邦大理）

量子スピン液体候補物質 κ -(BEDT-TTF)₂Cu₂(CN)₃ に対するひずみ効果と電界効果

- ・PSG8 加藤 将貴（東大理）

金属有機錯体表面における酸素吸着に誘起された磁気競合効果と 2 次元古典スピン液体形成

2. 現領域代表、副代表、運営委員の紹介

領域代表：岡田 晋 先生（筑波大）（任期：2020 年 4 月～2021 年 3 月）

領域副代表：小形 正男 先生（東大）（任期：2020 年 4 月～2021 年 3 月）

領域運営委員：

大池 広志(東大)（任期：2019 年 10 月～2020 年 9 月）

圓谷 貴夫(熊本大)（任期：2019 年 10 月～2020 年 9 月）

野村 悠祐(理研)（任期：2020 年 4 月～2021 年 3 月）

土屋 聡(北大)（任期：2020 年 4 月～2021 年 3 月）

3. 次期領域代表、副代表の選出・承認〔審議事項〕

次期代表・副代表として以下の方々を選出し、承認された。

次期領域代表：小形 正男 先生（東大）（任期：2021 年 4 月～ 2022 年 3 月）

次期領域副代表：長谷川 達生 先生（東大）（任期：2021 年 4 月～ 2022 年 3 月）

4. 次期領域運営委員の紹介

次期領域運営委員：

野村 悠祐(理研)（任期：2020 年 4 月～2021 年 3 月）

土屋 聡(北大)（任期：2020 年 4 月～2021 年 3 月）

田縁 俊光 先生（東大）（任期：2020 年 10 月～2021 年 9 月）

小林 晃人 先生（名大）（任期：2020 年 10 月～2021 年 9 月）

5. 次々期領域運営委員の選出・承認〔審議事項〕

現運営委員により、次々期運営委員として以下の方々を選出し、承認された。

次々期領域運営委員：

渡部 洋 先生（立命館大）（任期：2021 年 4 月～ 2022 年 3 月）

小林 拓矢 先生（埼玉大）（任期：2021 年 4 月～ 2022 年 3 月）

6. メーリングリスト運用に関して

以下の内容を周知した。また、自分のメールが登録されているかどうか不明の方は、運営委員に確認してもらうようお願いした。

■ 現在のメーリングリストの状況

アドレス数上限：1000

登録アドレス数：947 (2020 年 9 月 7 日現在)

勝手ながら、講演者のアドレスは運営委員が登録しています。

※お願い事項

- ・卒業などで使われなくなったアドレスについて削除の連絡をお願いします。

- ・転送先での送信エラーが頻発する方もいます。設定、容量等ご確認ください。
 - ・研究室 ML によって登録されているアドレスからは、bunyu4@d7.div.jps.or.jp への投稿はできません。投稿の必要がある場合には、ML に直接登録してあるメールアドレスをお持ちの方にお問い合わせするか、運営委員に直接、ご連絡をお願いします。
-

7. 概要集提出率に関して

2020 年秋季大会における領域 7 の概要集提出率は 96.1%であり、全領域中 9 番目であったことが報告された。

8. 各種賞について（米沢富美子記念賞・日本物理学会論文賞）

・米沢富美子記念賞

【賞について】

米沢富美子慶應大学名誉教授は、コヒーレントポテンシャル近似や、金属絶縁体転移の理論など物理学研究に大きな足跡を残され、女性として初めての日本物理学会 会長（第 52 期）をお務めになり、更に「女性科学者に明るい未来をの会」会長として女性科学者の支援にもご尽力されました。日本物理学会では、米沢富美子氏のこれまでの業績を記念し、女性会員の物理学分野における活動を讃え、奨励するため、日本物理学会 米沢富美子記念賞を設立いたしました。

【受賞の対象者】

日本物理学会の女性会員で、2020 年 10 月末日において博士またはそれに相当する学位取得後 15 年以内、あるいは学位未取得の場合は 45 歳以下の方。諸事情により物理分野での活動に空白期間があれば、その年月は考慮いたします。

【評価の対象】

米沢富美子記念賞（以下、本賞）の選考においては、研究業績、物理学教育活動、本会活動への貢献、その他物理学分野の発展に関わる社会的活動などの業績一般を評価対象といたします。

本賞は、本会が授賞する他の賞からは全く独立です。

【応募方法・提出先について】

募集要項などの記載がございます日本物理学会 web site (<https://www.jps.or.jp/activities/awards/yonezawa.php>)をご参照ください。

【募集締め切り】

領域 7 締め切り 2020 年 9 月 30 日（木）

・日本物理学会第 25 回論文賞

【表彰対象論文】

原則として表彰年度の前年 6 月から遡って 10 年以内に「Journal of the Physical Society of Japan」(Supplement を含む)、「Progress of Theoretical and Experimental Physics」(その前身 Progress of Theoretical Physics とその Supplement を含む)及び「JPS Conference Proceedings」に発表された原著論文が対象。詳細は 論文賞規定を参照。

【推薦書類】

領域 7 web site からダウンロードが可能。

領域 7 メーリングリストに推薦書類を送付済み。

【募集締め切り】

領域 7 締め切り 2020 年 9 月 30 日(火) 必着

【推薦書類提出先】

領域 7 代表 岡田 晋, 副代表 小形 正男

9. 関連会議・シンポジウムの紹介

特になし。

10 次回大会について

コロナの状況次第ではあるが、

第 76 回年次大会, 東京大学(駒場キャンパス), 2021 年 3 月 12 日(金)~15 日(月)

であることがアナウンスされた。

11. 言語の英語化について [審議事項]

昨年のインフォーマルミーティングにおいて、留学生や外国人研究者の物理学会参加を促進するために、シンポジウム講演の言語の英語化が議論された。審議の結果、シンポジウム講演の英語化に関して、領域委員会において領域 7 より提案することになった。提案の結果、「英語化」について各領域で意見聴取を行って、次回の領域委員会で審議することが決定された。

以下のような英語化によるメリット・デメリットが紹介された。

【メリット】

- ・各大学の留学生が参加しやすくなる
- ・留学生や在日の外国人研究者、外国在住日本人研究者を登壇者として呼びやすくなる
- ・国際学会への参加機会の少ない修士や学部の学生にとって、

専門的な英語発表を聞く貴重な機会となる

【デメリット】

- ・質疑は日本語で良いとはいえ、学生（英語が不得手な研究者）の発表への理解が低下し、物理に関しての有効な議論ができない
- ・他の領域の参加者がふらっと参加しにくくなるかもしれない
- ・専門外の聴衆に対して専門用語等が英語だとすぐに理解されない可能性がある

以下の二点を審議内容とし、意見を求めた。

-
- (1) 企画提案（招待講演、シンポジウム等）は、英語で行うことを推奨する
 - (2) 企画提案、一般講演のスライドは英語を推奨する
-

審議内容(1)については、

- ・M1 にとっては英語の発表は難しそう。
 - ・企画提案については、初学者の理解を進めるという趣旨に反する懸念がある。
- との意見が挙げられた。

審議内容(2)については、

- ・発表が日本語であっても、スライドが英語だと外国人の方にとっては理解しやすい。
- との意見が挙げられた。

これらの意見を踏まえ、領域代表・副代表・運営委員で協議することとした。

12. 学生優秀発表賞について〔審議事項〕

これまでの経緯：

- ・2016 年秋季大会から大学生・大学院生等を対象とした優秀ポスター賞の表彰を実施。

目的：学生優秀発表賞を設けることで、領域7における大学院生の発表数増加、議論・情報交換の活性化を目指す

- ・2018 年秋季大会から物理学会の正式な賞となり、「学生優秀発表賞」と名称が変更
- ・2019 年年次大会から年2回ポスター発表のみ審査対象
- ・学会発表申込時に申請した者に対して審査を実施
- ・2019 年度ポスター発表を受けて、その後の方針を検討するために以下のような2度のアンケートが実施された。

[目的]

来年度以降、口頭発表も含めた学生優秀賞について再検討を行うため、現場の意見を集約する

[方法]

- 1 回目：学生賞の審査員に、審査後にアンケートを依頼
- 2 回目：事前に領域 ML にて、関係者にアンケートを依頼
(広く領域の先生や学生の意見を集めるため)

第 75 回年次大会(2020 年)のインフォーマルミーティングにて、アンケート結果が紹介された。

アンケート結果を受けて、領域代表・副代表・運営委員で協議した結果、審査のやりやすさという点からポスターに利点があるという意見が多数派である一方で、質の高い研究発表は口頭で多くの人に聞いてもらった方が良いという意見も多いことが指摘された。この結果、2020 年秋季大会では、「秋季大会でポスター審査を行い、受賞者には次の年次学会で記念講演を行ってもらおう。」という審議内容とし、意見を求めた。

「若手奨励賞の受賞講演と合わせて、若手が並ぶアグレッシブなセッションができて良い」等の賛成意見が多く上がった。

これらの意見を踏まえ、領域代表・副代表・運営委員で協議することとした。